

## 令和2年度 林業試験研究推進計画書

<b>1 課題名</b>	土木用木製構造物に関する研究 (県産材を活用した土木用木製構造物の耐久設計方法の確立)		
<b>2 研究期間</b>	令和元年度～令和3年度	<b>3 総括責任者</b>	資源利用課 盛田貴雄

### 4 背景と目的

これまで県内で施工された土木用木製構造物は、経年劣化に対しての材料、構造などの設計方法や、点検、修繕などの維持管理方法が十分確立していないため、コンクリート製や樹脂製の製品に代わってきているのが現状である。

そこで本研究では、県産材を活用した土木用木製構造物の普及を図ることを目的に、設計段階から製品の長期使用を考慮した土木用木製構造物の開発や、土木用木製構造物の維持管理方法の確立を目指す。また、そのような耐久設計の概念を取り入れた土木用木製構造物の構造試験、施工試験、維持管理を通じて、総合的見地からその有効性を探る。

### 5 到達目標

- 1) 県産材を活用した土木用木製構造物の耐久設計方法の確立
- 2) 県産材を活用した土木用木製構造物の維持管理方法の確立

### 6 研究年次計画

試 験 計 画		担当者
試 験 項 目・試 験 内 容	試験年度	
1 既存の土木用木製構造物の現状調査	R元～R2	資源利用課 盛田貴雄 沖 公友 秋友崇光 竹嶋一紗
2 土木用木製構造物の耐久設計方法の検討、試験	R元～R2	
3 耐久設計を取り入れた土木用木製構造物の経年変化の測定	R2 ～R3	

### 7 当年度研究実施計画

既存の木製構造物の現状調査、木製構造物の施工試験、屋外用塗料の耐久性試験